

SMC® 免疫原性アッセイ開発キット

Merck 社製 SMC 免疫原性アッセイ開発キットは、同社製の超高感度イムノアッセイシステム SMCxPRO® 上でバイオ医薬品の抗薬物抗体 (ADA) を検出するためのアッセイを開発することのできるキットです。

fg/mL の検出感度を持つ SMCxPRO® と共に、早期の一次 ADA 応答の検出に貢献します。



特長

- FDAガイドラインを満たす検出感度 (fg/mL)
- 低親和性抗体の検出
- フリー薬物に対する耐性
- IgG・IgM・IgEを含む全てのADAサブタイプの検出

原理

SMC技術は、捕捉試薬と検出試薬それぞれで薬物をラベリングし、アッセイの開発と最適化に必要な緩衝液試薬を利用することによってADAアッセイの開発を可能にします。この技術は、簡素で、設計と検証が容易な、試験生物種に依存しない、ホモジニアス・アッセイ・フォーマットを開発することができます。また、洗浄ステップが少ないため、低親和性抗体の検出とアッセイ時間の減少に効果を発揮します。このアッセイ・フォーマットは、ADAが薬物にラベルされた捕捉試薬と検出試薬の間にADAが挟まる形でブリッジするので、しばしば「bridging assay」と呼ばれます。蛍光結合薬物は、SMCxPRO装置の1分子カウント技術によって読み取られ、カウントされます。

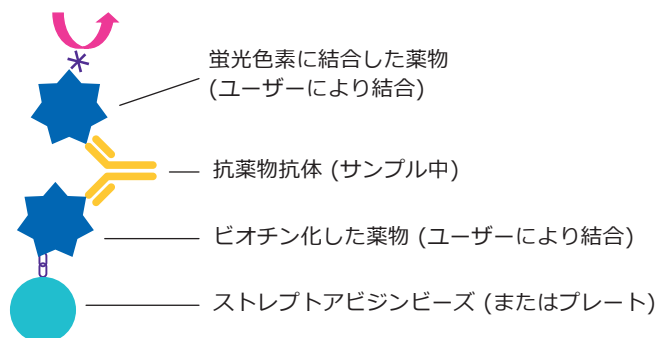


Figure 1. サンプル中のADA検出のためのbridging assayフォーマット。免疫複合体薬物は蛍光色素とビオチンに結合し、磁気ストレプトアビジンビーズ上に捕捉される。

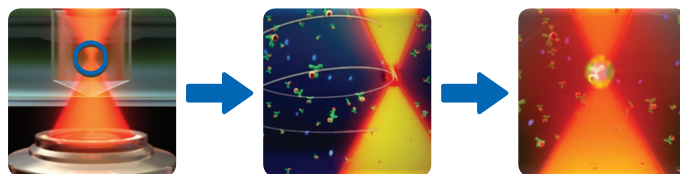
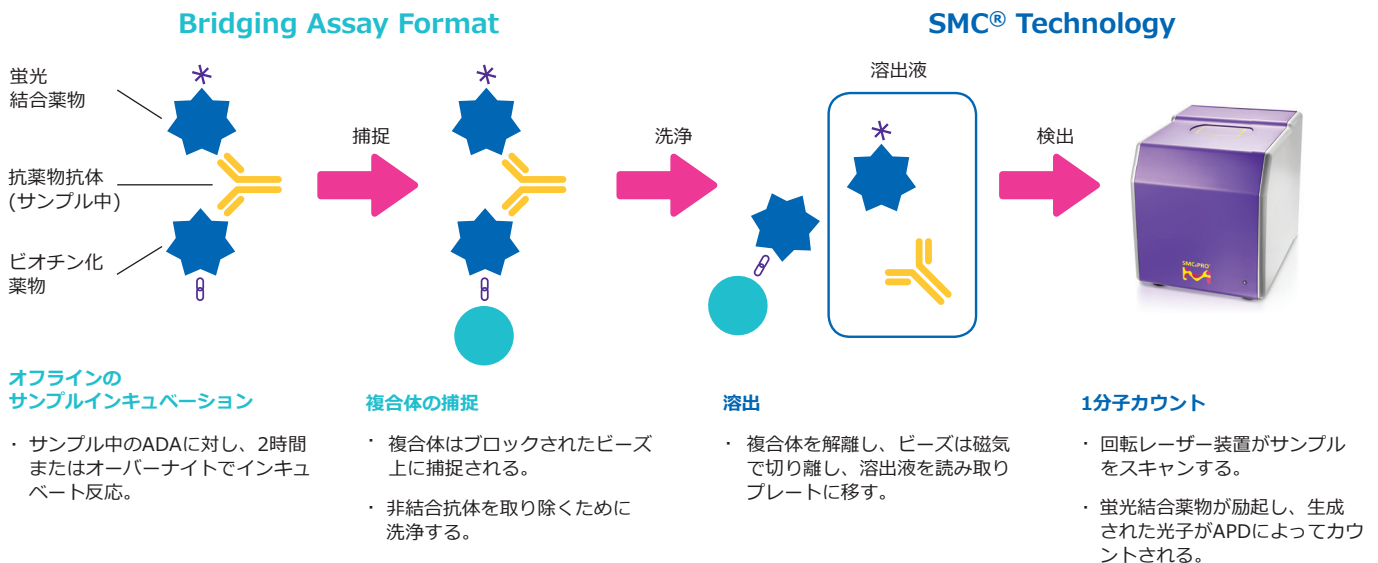


Figure 2. 蛍光結合薬物が読み取りウィンドウを横切る度にそれをカウントする。

シンプルなワークフロー

捕捉と検出に使用する薬物の、誘導体化終了後のアッセイ開発ワークフローは以下の通りです：



SMC® 免疫原性アッセイ開発キット (約30アッセイ分、型式：03-0175-00)

キット構成成分：

- Capture Label
- Detection Label
- Buffer 1
- Buffer 2
- Buffer 3 (10X)
- Filter Tube Ultrafree Ultracel-20 membrane
- 10X Wash Buffer
- Coated Bead Buffer *
- Uncoated SMC Beads
- Discovery Standard Diluent
- Elution Buffer B
- Buffer D
- 10X Systems/Wash Buffer w/ Proclin

* 医薬用外毒物を含む

※ご注意：本パンフレットに掲載の製品・サービスは、研究・実験動物用です。人・動物の臨床用途に使用することはできません。



総販売元

プライムテック株式会社

【東京本社】〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-25 小石川大国ビル2F
【大阪営業所】〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-12-4 第二江坂ソリトンビル9F
【連絡先電話番号】(東京) 03-3816-0851 (大阪) 06-6310-8077
【URL】<http://www.primetech.co.jp> [eMail] sales@primetech.co.jp

総輸入元

メルク株式会社

ライフサイエンス リサーチ事業部

〒153-8927 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー 5F

製品の最新情報はこちら www.merckmillipore.jp/bio

E-mail: jpts@merckgroup.com

Tel: 03-4531-1140 Fax: 03-5434-4859